

英語とフランス語を話せるのがかっこいいと思われる理由

平塚泰雅 23B12703

東京工業大学 工学院

1. はじめに

Research Question : 英語とフランス語を話せるのがかっこいいと思われる理由

私は、この世の中で外国語を話せる人はかっこよく感じた。またこれは多くの人が感じていることであると思い、どの言語が特にそう思われるのかを調べた。

2. 方法

1で書いたことを調べるため、私はまずInstagramのストーリー機能を用いて「どの言語を話せるとかっこいいと思うか」についてのアンケートを実施した。この結果は下の3で示した。そしてこれに関する論文とインターネット上に掲載されていたアンケートの結果も参照しつつ考察する。

3. 結果

まずアンケートの結果、計77票を獲得することができた。その結果は1位が英語で31票(40%)、2位がフランス語で30票(39%)、3位がスペイン語で13票(17%)でその他にイタリア語、ロシア語、トルコ語にそれぞれ1票ずつ入った。この結果はインターネット上に掲載されていたアンケートの結果(サンプル数430)と順位はほぼ同じなのだが英語の割合が64%非常に高いという点などで異なるところもあった。またフランス語と英語がほぼ同数なのも注目に値する結果となった。表: 私が集めた「話せたらかっこいいと思う外国語ランキング」(サンプル数77)

言語	投票率(小数点以下四捨五入)
英語	40%
フランス語	39%
スペイン語	17%
イタリア語	1%
トルコ語	1%
ロシア語	1%

4. 考察

まず第一に3にも書いたが私が集めたデータとインターネット上に掲載されていたデータで異なる点としてフランス語の人気さがあげられる。この理由として考えられる理由は2つあると思う。1つ目に大学生は第二外国語を履修するため今自分が習っている言語であるため。2つ目に大学には留学生が一般社会より多く在籍しているため、フランス語に触れる機会が多いため。ということが挙げられると考える。これがフランス語を話せるのがかっこいいと思われる理由であると考えられる。それから英語に関しては、言わずもがな日常生活で触れる外国語においてその頻度が圧倒的に最も高い。そのため英語を話せるがかっこいいと考える人が多いのにも納得がいく。また神戸松蔭女子学院大学学術研究委員会の久津木文さん著の論文には、日本の幼児は全般的に英語を話せるのがかっこいいと思っていると記されており現在、小学校でも英語教育が行われていることを考慮すればこの傾向が小学校、中学校、高校、大学と続いていても不思議ではない。またこれは英語を話せるとかっこいいと思われることの理由ともなる。

5. おわりに

わたしが調べた問題は「英語とフランス語を話せるのがかっこいいと思われる理由」であり、この問題を提起するにあたりまずInstagramのストーリー機能を用いてアンケートを実施した。それからインターネット上に掲載されていたアンケートの結果と私の実施したアンケートの結果を比べ、論文を1つ引用しそれを含み考察した。そして結論としては、英語は昔のころからかっこいいと思われているからであり、フランス語は大学生以降学んだり触れたりする機会が増加するため、子供の頃に英語をかっこいいと思うようになったのと同様にかっこいいと思うようになるのだと私は考える。

参考文献: 久津木文、英語を話すことはかっこいいのか?: 日本の幼児の国々に関する知識と外国語に対する態度、神戸松蔭女子学院大学学術研究委員会、2016、19(6)、p. 43-55.